

令和5年度 第2回学校運営協議会 議事録

1 第2回学校運営協議会概要

日 時 令和5年10月11日（水）15時～
会 場 大阪府立岸和田高等学校 校長室

学校運営協議会委員

和泉市教育委員会委員	中西	正人	様
岸城中学校校長	長岡	英晃	様
岸城幼稚園長	小野	舞	様
同窓会会長	新田谷	修司	様
P T A会長	笹島	潤一	様
元後援会会長	山路	明子	様

学校側参加者

校 長	植木	信博
教 頭	岸野	敏昌
事 務 長	中島	徹
首 席	田坂	太一
首 席	中野	健一
進路指導部長	長谷川	武央

2 次第

(1) はじめに（司会：教頭）

① 校長挨拶

- ・お忙しい中、第2回学校運営協議会にご出席いただき感謝する。5月17日に開催した第1回では、スクール・ミッション（設置者案）を報告するとともに、今年度の学校経営計画について確認させていただいた。また、スクール・ポリシー（案）の高等学校課への提出にあたり意見をいただいた。
- ・本日の第2回では中間報告という位置づけで、今年度に入ってからの方針の進捗状況について報告させていただく。また、この後、授業を見学いただきたいと考えている。よろしくお願いします。
- ・ここまでの学校行事の概要について報告させていただく。6/16(金)、17(土)に文化祭を実施した。昨年度、金曜、土曜開催で土曜日は一般公開したが、午前中のみとした。今年度、土曜日は午後から行った。土曜日の午後からも開催したことで分散されたのか、大きな混雑はなかった気がする。コロナ禍前は土日開催で両日一般公開であったが、金土開催が定着しつつある。
- ・夏にはSSHの取組みとして、鉢伏高原への生物フィールドワーク、東京方面への夏季サイエンスツアーを行った。また、東大、早稲田、慶応を巡る東京方面大学ツアーを行った。参加生徒は5名と少なかったが、岸高同窓会関東支部の20名を超える同窓生が集まり激励会を開いていただいた。
- ・日本の大学の留学生、海外の大学生をリーダーとするグループで議論を行う4日間英語漬けの「グローバルリーダー養成プログラム（校内版）」を実施したところ、90名以上の生徒が参加した。
- ・9/22(金)に体育祭を実施。熱中症を心配していたが、前日の雨で気温が下がったことが幸いした。昨年度にも増して、生徒の「団結力」「全力」などに感動した。この後、10/20(金)～23(月)の4日間、2年生が沖縄へ修学旅行に行く。また、11月には1、2年生が合唱コンクールを行う予定。

② 学校運営協議員の自己紹介

③ 本校職員の紹介

(2) 協議

① 学校経営計画の進捗について（校長より）

【報告】

- ・第1回の学校運営協議会での議論を踏まえ、別紙のとおり、スクール・ポリシー（グラデュエーション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）を高等学校課に提出した。この後、年末までに高等学校課と学校で調整を行ったうえで、案が決定される。その結果について、第3回の学校運営協議会で承認いただくことになる。
- ・昨年度第3回学校運営協議会でも報告した学校教育自己診断の結果を踏まえた今年度の動きについて何点か報告させていただく。
 - ・校長のリーダーシップに対して教員からは高く評価されたが、保護者からは80%を下回る低い評価であった。校長として直接、保護者の方に話しをする機会がほとんどなかったことがその要因の一つと考え、今年度は保護者進路説明会などで校長としての考えを伝える機会を増やしている。また、校長ブログについても今年度は自らのミッションと考え、積極的に発信しており、現在の本数はすでに昨年度を超えている。できる限り、具体的内容を文章で伝えたいと取り組んでいる。
 - ・保護者の方に学校が行う取組みについて、ご理解・ご協力いただきたいと考えている。そこで、実際に来校いただき、生徒の様子を見ていただく取組みとして、11月11日（土）に本校として初めて保護者向け授業公開を実施する。
 - ・土曜日午前の学習については3年連続で数値が下がっており、50%を下回った。このことについて現在来年度に向けた取組みを検討中である。本校では土曜学習タイムとして土曜日午前は原則部活動禁止としているが、それがうまく機能していないと考えられ、検証を行っている。廃止という意見もあるが、平日に講習を実施する時間が取れないことが課題である。
 - ・昨年度第1回の学校運営協議会において中西委員から実施について疑問の声をいただいた「スーパークラス」についても検証をすすめてきた。スーパークラスについては大学進学実績などにおいて成果をあげていること、学校のPRとしても活用してきたことなどから、来年度入学生についても実施を決定したところである。継続する以上は、スーパークラスに入った生徒にとってより有意義で効果的な取組みにしたいと考えており、現在、教育課程の見直しを行っている。また、希望しながら入れなかった生徒に加えて、希望しなかった生徒に対しても、学習意欲を高め、学習を支援できる取組みを新たに始めたいと考えている。
- ・自由記述に書かれていた意見についても改善に取り組んできた。
 - ・「朝読」の時間については今年度当初から廃止し、授業の開始を早めることで、最終下校時刻を15分早くした。生徒たちには、その15分を有効に活用してもらいたいと考えている。
 - ・プロジェクターが見えにくいという意見に対して、府教育庁が実施を始めた「リーディング GIGA ハイスクール事業」に応募し指定を受け、昨年度中に普通教室のプロジェクターを更新することができた。
 - ・休日の体操服・ジャージ登校を認めてほしいという意見を踏まえ、決定に時間を要したが、この夏季休暇から許可することとし、生徒に伝えるとともに保護者あて文書を配付した。
 - ・ロッカーを設置してほしいという意見が多くあり、昨年度末から設置の方向で検討してきたが、設置場所がないことから諦めざるを得ないと判断し、保護者あて文書にてその旨を説明した。
 - ・課題の量を減らしてほしいという意見もある。部活動にも忙しく、時間がない中の声ではあるが、課題を減らすことによる学習時間のさらなる減少が気になるところであり、結論は出ていない。

【質疑応答】

（委員）（中西様）

土曜日の午前中の生徒の実態はどうなっているのか。

（学校）（田坂首席）

参加者は昨年度よりも減少している。最も多く来ている時で70～80名。コロナ禍で土曜日の活動を減らした時期が数年あり、以前の状態が生徒も教員も継承されなくなってしまった印象がある。

(委員) (長岡様)

朝読をなくして別の取組みを入れたのか。

(学校) (校長)

読書にかかる新たな取組みを実施したということはない。朝読をなくすにあたり生徒には、15分という貴重な時間を自分自身が必要と考える時間として有意義に活用してほしいと伝えた。もちろん、学習でも読書でもよい。学習時間の確保が課題となっている中、時間を大切にする意識を持ち、生徒自身の時間管理能力を高めてほしいと考えている。

(委員) (長岡様)

中学校では国から読書時間の減少が課題とされている。電子図書も増えて来ている。

(学校) (校長)

大学受験においても、これまで以上に読解力が求められている。読解力向上に向け読書は大切となるが、時間を設定して強制的に読書させることが、すべての生徒にとって本当に効果的なのか、有意義な時間になっているのだろうかと考えることもある。

(委員) (中西様)

子どもたちの「本離れ」は課題と言われているが、朝読を廃止して生徒には変化があったのか。

(学校) (校長)

朝読廃止による影響について、特に検証することはできていない。今後、生徒にアンケートを取るなどにより、読書に対する意識の変化や実態などについて調べてみたい。

(委員) (中西様)

「スーパークラス」の成果などを検証するためアンケートを実施し、継続するかどうか検討をすすめてくれたのは有難いが、私自身は「スーパークラス」の生徒が享受する内容を他の全ての生徒が受けられるようにしてもらいたいと考えている。

(委員) (笹島様)

「スーパークラス」を増やすということはしないのか。

(学校) (校長)

設置の目的を考えると、増やすことがよいとは言いきれない。現在のスーパークラスについては平成30年度入学生(73期生)から全クラス文理学科のみになったタイミングで設置したところである。文理学科と普通科併置の時には習熟度別クラスが一定実現されていたが、全員が文理学科となったことから、スーパークラスを設置することになったところである。

自身の時間の使い方や自身の望む学校生活を優先し、スーパークラスを希望しない生徒もいる。

② 広報関係について(首席より)

【報告】

今年度本校で実施した学校説明会では生徒が話しをする機会を以前より増やして、本校の生徒の実態を中学生や保護者に見てもらおうようにした。アンケートでは生徒の姿を見ることができたことに対して概ね好評であった。

③ GL(Global Leader) 報告書(校長より)

【報告】

- ・「グローバルリーダー養成プログラム(校内版)」については先ほども話したが、今年度も90名を超える生徒の参加があった。今年度はこれまでより毎日1時間延長してプログラムを実施した。また、今年度は留学生だけではなく、初めて海外の大学生にも来てもらった。その大学生たちはプログラム参加生徒の家庭にホームステイした。ホームステイを受け入れていただいた保護者からは好評の意見をいただいている。
- ・「日本文化体感プログラム」については、昨年度は本校主催で行ったが、今年度は歴史街道推進協議会が予算をとり主催する形になった。定員が15名であったことから、岸和田高校・和泉高校・久米田高校の3校の生徒に案内し、実施してもらうこととした。本校からは2名が参加予定。

- ・海外研修については令和元年度以降実施できていなかったが、今年度3月に「オーストラリア研修」を企画したところ、定員50名に対して55名の参加希望があった。2年生を優先とし、1年生から抽選して50名を決定した。円安と燃料高もあり、費用は50万円弱必要となる中、多くの生徒に参加してもらうことができ、嬉しい限りである。なお、来年度は、オーストラリア研修以外にも別の海外研修の企画も検討中である。

④ 課題研究（探究学習）について（首席より）

【報告】

- ・9月8日（金）に文理課題研究の中間発表会を開催した。ポスター発表の本数は110テーマ。
- ・昨年度までは教科を元にしたゼミ形式で実施していたが、今年度の2年生からは教科横断型でテーマ分類による指導体制をとった。
- ・資料にある”Nova”とはSSH第Ⅲ期、昨年度から始めた理系に特化したグループのことである。
- ・文理課題研究の最終発表は1月27日（土）に実施予定である。

【質疑応答】

（委員）（笹島様）

昨年度の課題研究の最終発表を拝見したが、この取組みは社会に出てから役に立つものであると思うので、発表の内容をより深めた内容にしてもらえると良いと思う。

(3) 授業見学（15:10～15:40）

【質疑応答】

（委員）（長岡様）

中学校では家庭科でSDGsが出てくるが、高校ではどうか？

（学校）（校長）

家庭科や公民科などでは取り扱う内容として近いものがあると思う。ただ、学習指導要領に記述があるなど、全体として示されているものではない。

（学校）（教頭）

中学校には教育庁等からSDGsを取り扱うような指示はあるのか？

（委員）（長岡様）

特に指示はないが、社会で取り扱われることが増えたことにあわせている。

（委員）（新田谷様）

教室は狭くないか？

（学校）（校長・教頭）

岸和田は狭い方だと思う。

机が以前のものよりも大きくなっており、教室がより狭く感じられるようになっている。

（委員）（中西様）

授業内容がハイレベルになっていると感じた。授業内容にも興味をそそられた。

3 今後の予定

第3回 2月14日（水）15:00～

4 校長より

- ・本日は貴重な意見をいただき、感謝する。いただいた意見を踏まえ、今後の教育活動の充実に取り組んでいきたい。
- ・スーパークラスについては意見が分かれ、判断の難しいところではあるが、本校独自の取組みの柱として、より大きな成果をあげることができるよう、今後検討をすすめていきたい。

- ・課題研究についても意見をいただいた。本校では課題研究をグローバルリーダーズハイスクールに指定された平成23年度から実施しているが、課題研究の内容を深めるのは難しい。今後は外部の力も借りながら課題研究の質的向上をめざしていきたい。
- ・次回、第3回の学校運営協議会では、スクール・ポリシー案、学校教育自己診断の結果と分析、令和5年度学校経営計画による評価、令和6年度学校経営計画（案）などについて審議いただく予定である。よろしく願います。